OCCHI WEB

PRO REPORT

Design for Performance.

WEB SITE DIAGNOSIS PLATFORM
CONFIDENTIAL REPORT

ID: sample-bundled

PLAN TYPE
PRO PLAN

DATE
2026/11/11

サイト診断レポート

Web Site Diagnosis Report for **Optimization**

PREPARED FOR
ご担当者様用

診断対象URL　TARGET

https://example.com

総合スコア
46 / 100

診断サマリー

サイト全体のパフォーマンスと信頼性に改善が必要です。

このレポートで得られること（3点）

1. 30/60/90日の改善ロードマップ
2. 主要導線の具体改善案
3. CV改善の優先順位設計

ANALYSIS SCORE

COMPLETED 1 / 17

優先度マップ（A/B/C課題）

制作会社へ渡せる順序で管理し、改善プロセスを可視化します。

Priority A: 3件　Priority B: 0件　Priority C: 0件

課題	改善方針	優先度	工数	担当
FVに主要CTAが存在しない/目立たない	FV内に主要CTAを1つ固定	A	S	制作
フォームのラベル不足	labelタグを整備	A	S	運用
LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）	FV画像を軽量化	A	M	制作

推奨着手順フロー

1. **FVに主要CTAが存在しない/目立たない**
2. **フォームのラベル不足**
3. **LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）**
4. **再計測して次アクション決定**

30日KPI目標（現状 → 目標）

表示速度	CV導線	信頼性	SEO構造
17 → 42	**80 → 100**	**20 → 40**	**100 → 100**

UI/UX・導線診断

優先度A/B/Cの実行仕様に基づく改善設計ページ

Execution Pro https://example.com

上位課題の改善設計（実行用）

1. FVに主要CTAが存在しない/目立たない

A

原因: ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

2. フォームのラベル不足

A

原因: アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

完了条件: labelタグを整備

3. LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

A

原因: 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

完了条件: FV画像を軽量化

実装オーダーシート（制作会社共有用）

1. 優先度Aを先行し、B/CはA完了後に着手
2. 納品時に「完了条件」を数値で確認
3. 30日後に同一URLで再診断し差分比較
4. 連絡時は対象URLと優先課題一覧を共有

根拠データ（抜粋）

LCP: --	CLS: --
TBT: --	A/B/C件数: **3 / 0 / 0**

視覚的診断

実際の表示状態をもとに、FVと導線の改善ポイントを確認

Visual 04

デスクトップ表示

スクリーンショットが取得できませんでした

モバイル表示

スクリーンショットが取得できませんでした

Pro版: 改善ポイント（最大5件）

1. **FVに主要CTAが存在しない/目立たない** ： ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前…
. 離脱しやすくなります。
2. **フォームのラベル不足** ： アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。
3. **LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）** ： 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

Pro版: 画面チェック指標

FV CTA視認	未確認	要確認
フォームラベル	--	要確認
LCP	--	要確認
CLS	--	要確認
タイトル長	--	要確認

優先度マスター台帳（A/B/C）

制作会社にそのまま渡せる実行順テーブル（担当/期限/完了条件付き）

A 3　B 0　C 0　05

課題	改善方針（要約）	優先	工数	担当	期限
FVに主要CTAが存在しない/目立たない	FV内に主要CTAを1つ固定	A	S	制作	W1
フォームのラベル不足	labelタグを整備	A	S	運用	W1
LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）	FV画像を軽量化	A	M	制作	W2

※Pro版はA/B/C全優先度を対象に、工程管理まで含めて定義します。

実装仕様シート（詳細）

原因・改善・完了条件を1課題ごとに明記（制作指示向け）

1 . FVに主要CTAが存在しない/目立たない

A

原因: ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

改善: FV内に主要CTAを1つ固定 / CTA色を統一しコントラストを確保

完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

2 . フォームのラベル不足

A

原因: アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

改善: labelタグを整備 / 必須表記を明文化

完了条件: labelタグを整備

3 . LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

A

原因: 2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

改善: FV画像を軽量化 / 不要なJSの非同期読み込み / サーバー応答時間を改善

完了条件: FV画像を軽量化

開発者向け技術メモ

制作会社・エンジニア向けの実装Q&A（全課題対応）

Q 1 (FVに主要CTAが存在しない/目立たない)

FVに主要CTAが存在しない/目立たないの実装修正例

A: 【コード例】<label for="email">メールアドレス</label><input id="email" name="email" type="email" required> の形でlabel/requiredを明示。

Q 2 (FVに主要CTAが存在しない/目立たない)

FVに主要CTAが存在しない/目立たないで使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】Chrome DevTools と Lighthouse CLI で変更前後を計測し、主要指標を比較。

Q 3 (フォームのラベル不足)

フォームのラベル不足の実装修正例

A: 【コード例】<label for="email">メールアドレス</label><input id="email" name="email" type="email" required> の形でlabel/requiredを明示。

Q 4 (フォームのラベル不足)

フォームのラベル不足で使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】Chrome DevTools と Lighthouse CLI で変更前後を計測し、主要指標を比較。

Q 5 (LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）)

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）の実装修正例

A: 【コード例】<img src="/img/hero.webp" width="1200" height="630" loading="eager" fetchpriority="high" decoding="async"> をFV画像へ適用し、画像容量を圧縮。

開発者向け技術メモ

制作会社・エンジニア向けの実装Q&A（全課題対応）

Q 6 (LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）)

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）で使う計測手順

A: 【ツール/コマンド】npx @squoosh/cli --webp auto -d output/ src/images/*.{jpg,png} 実行後、npx lighthouse https://example.com --only-categories=performance で再計測。

カテゴリ別プレイブック

各カテゴリの目標・責任者・完了条件まで明記

パフォーマンス 17

表示速度/安定性を改善

重点課題

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

完了条件: LCP 2500ms以下・CLS 0.1以下

担当: 制作

コンバージョン 80

CTA/フォーム導線を改善

重点課題

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

完了条件: 問い合わせ完了率 +15%

担当: 制作

信頼性・安全性 20

不安要素を解消

重点課題

フォームのラベル不足

アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

完了条件: 会社情報/規約/導線明示

担当: 運用

SEO・構造 100

検索流入の基盤を強化

重点課題

SEO・構造は概ね良好です

現状維持しつつ、月次で再計測して劣化を防止してください。

完了条件: title/Hタグ/内部リンク最適化

担当: 制作/運用

根拠データと閾値判定

再診断時に同条件比較できるよう基準値を固定

LCP	CLS	TBT
--	--	--
目標: 2500ms以下	目標: 0.10以下	目標: 200ms以下

対象URL	対象プラン	課題件数（A/B/C）
https://example.com	**Pro**	**3 / 0 / 0**

再計測ルール（固定）

- 同一URL / 同一時間帯 / 同一ネットワーク条件で実施
- 3回計測し中央値を採用
- データ照合IDが一致するか確認
- 差分は「速度/CV/信頼性/SEO」で比較

受け入れ判定（QA）

- A優先課題の完了率 80%以上
- 主要KPIのうち2軸以上で改善
- PDFレイアウト崩れゼロ（主要ブラウザ）
- 旧導線 `/v3/result/:id` 互換維持

KPI設計（30日 / 60日 / 90日）

改善施策の成果を経営判断に使える数値で管理

表示速度
17 → 33
30日: 31 / 60日: 35

CV導線
80 → 94
30日: 92 / 60日: 96

信頼性
20 → 33
30日: 31 / 60日: 35

SEO構造
100 → 100
30日: 100 / 60日: 100

算出根拠: 優先度A/B/Cの件数（**A: 3 / B: 0 / C: 0** ）と現状スコアをもとに、**30日=A完了 / 60日=A+B完了 / 90日=A+B+C完了**のシミュレーションで目標値を算出。

30日

- A課題を完了
- CV導線の初期改善
- 再診断で初回差分確認

60日

- B課題を順次実装
- フォーム完了率最適化
- SEO構造の再設計完了

90日

- C課題まで反映
- 定常運用フローを確立
- 次四半期計画に接続

実行順序と依存関係

手戻りを防ぐための実装順ルール

1 FVに主要CTAが存在しない/目立たない → 2 フォームのラベル不足 → 3 LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

依存関係の原則

- 速度改善（LCP/TBT）を先行し、体験品質を底上げ
- 次にCTA/フォーム改善でCV導線を最適化
- 最後にSEO/信頼情報を横断反映し長期効果を回収
- 各フェーズ完了後に1回ずつ再計測を実施

制作会社への依頼条件

- 完了条件（数値）を契約時に明記
- 納品物に「差分レポート」を含める
- 実装単位をW1/W2/W3/W4で分割発注
- 検収前に同一URLで再診断を実施

リスク管理と品質保証

実装時に起きやすい失敗を事前に潰すためのページ

想定リスク

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

ユーザーは数秒で判断します。主要CTAがFVにない/弱いとスクロール前に離脱しやすくなります。

フォームのラベル不足

アクセシビリティが低下し、フォーム離脱の原因になります。

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

2.5秒を超えると、ユーザーの体感速度が急激に悪化します。

再発防止チェック

- 実装前に現状値を記録
- Pull Request単位で要件を照合
- 公開前に計測値を再確認
- 公開後24時間以内に異常監視

実行体制チェック（発注前）

- 責任者: 週次レビュー担当を1名固定
- 連絡手段: 対象URLと優先課題一覧を共有して依頼
- 完了判定: KPI 2軸以上の改善を検収条件に設定
- 再診断: 30日後に同一条件で差分確認

データ付録（採点根拠）

計測値と判定条件を制作側が追跡できる形式で整理

指標	実測値	目標値
LCP	--	2500ms以下
CLS	--	0.10以下
TBT	--	200ms以下
フォームラベル数	--	主要入力項目に設定
H1数	--	1以上
title文字数	--	25〜35文字
HTTPS	**未確認/無効**	有効
HSTS	**未確認/無効**	有効

判定フラグ

- CTA検出: **無**
- 会社情報: **無**
- 住所情報: **無**
- Privacy: **無**
- Meta説明: **無**
- 構造化データ: **無**

採点再現性情報

診断ロジック版
-

データ照合ID
-

比較運用メモ（制作会社向け）

- 同一URLで再計測（条件固定）
- hash不一致時は比較対象から除外
- 計測は3回実行し中央値を採用
- A課題完了後にB/C課題へ移行

経営判断サマリー（意思決定用）

担当者が経営陣へ説明し、Go/保留を判断するための要点を集約

判断メタ情報

対象URL	発行日	診断ロジック版
https://example.com	2026/11/11	-

現状スコア / 優先度別課題

46 / 100

A: 3 / B: 0 / C: 0

90日成果レンジ（目安）

表示速度: **17** → 37
CV導線: **80** → 98
信頼性: **20** → 38
SEO構造: **100** → 100

実行難易度 / リスク

高

M/L工数課題: **1** 件
主要判断: **段階実行を推奨**

投資レンジ（制作/改善の目安）

80,000 円 ～ 180,000 円

工数目安: **7 ～ 12 営業日** （A/B/C課題・工数区分から算出）

回収目安（投資判断の参考）

3～6か月

CV改善・離脱抑制の効果が反映される一般的な期間レンジです。

意思決定の判断ポイント

- 4週間でA課題を完了できる実装体制を確保できるか
- 週次で成果（KPI）を確認する担当者を固定できるか
- 再診断条件を固定し、同条件で比較できるか
- 制作会社へ渡す実装資料が揃っているか

Go / 保留 判定表

A課題の担当と期限が確定	**Yes**
再診断条件（同URL/同時刻）固定	**Yes**
受け入れ基準（KPI2軸改善）合意	**必須**
現時点判定	**段階Go（A優先）**

発注パッケージ（引き継ぎ用）

制作会社/外部パートナーへ渡す最小セット

共有すべき資料

1. 本レポート（Pro版）
2. 対象URL一覧（優先ページ順）
3. KPI目標表（30/60/90日）
4. 完了条件チェックリスト
5. 再診断比較レポート（次回）

依頼テンプレート（そのまま利用可）

- 対象: **Web制作/改善（LP含む）**
- 納期: 4週間（W1〜W4）
- 優先度: A → B → C の順で対応
- 検収: KPI差分 + 再診断結果で判定
- 連絡時は対象URLと要件一覧を共有

受け入れ基準（DoD）

- 重大課題（A）の未対応ゼロ
- 主要KPI 2軸以上の改善
- フォーム/CTA導線の実装反映
- UI崩れ/リンク切れゼロ

運用メモ

- 更新履歴を週次で記録
- 変更の前後スクショを保存
- 差分レビュー会を隔週実施
- 次の施策候補を常に3件維持

見積依頼時の記載例（参考）

工数レンジ	発注単位	検収条件
XS: 0.5日 / S: 1〜2日 **M: 3〜5日 / L: 1週以上**	**W1: A課題** **W2-4: B/C課題**	**完了条件 + KPI差分** **再診断結果で確定**

制作会社向け実行チケット

そのまま転記できるタスク単位（優先度/担当/完了条件付き）

発注メッセージ例（転記用）

対象URL「**https://example.com**」のA/B/C課題について、優先度順（A→B→C）で実装をお願いします。納期はW1〜W4、検収はKPI差分と再診断結果で判定します。納品時は「完了条件チェック結果」と「再診断レポート」を提出してください。

キックオフ前チェック

- 担当者（制作/運用）を確定
- W1〜W4の納期を双方合意
- 検収条件（KPI2軸改善）を明文化
- 再診断条件（同一URL/同時刻）を固定

初回着手タスク（W1〜W2）

Task 1 A

FVに主要CTAが存在しない/目立たない

担当: **制作**

完了条件: FV内に主要CTAを1つ固定

Task 2 A

フォームのラベル不足

担当: **運用**

完了条件: labelタグを整備

Task 3 A

LCPが遅い（主要コンテンツ表示が遅い）

担当: **制作**

完了条件: FV画像を軽量化

制作会社への共有テンプレート

1) 対象URL: **https://example.com**

2) 優先度: **A→B→C** で進行

3) 検収: **KPI差分 + 再診断結果** で判定

4) 参考資料: **本レポート該当ページ** を添付

OCCHIの制作支援

レポート内容を元に、Web制作・改善（LP含む）の実装相談・見積依頼が可能です。診断IDを添えてご相談ください。

OCCHI相談時の診断ID: **sample-bundled**

https://occhiinc.com/lp-design/

OCCHI案内ページへ